

八乙女

編集 南山見公民館
発行

昭和60年1月20日発行

No. 22

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176



院瀬見春日社

年頭にあって

南山見自治振興会会長 須川 利夫

明けまして おめでとうございます。

昭和六十年の新春を迎え、身心ともに新たな緊張と希望にみちて、牛のようにねばり強くがんばろうと、心に誓いました。本年も低経済社会や高齢化社会などへ将来の展望を踏まえたさまざまな要望を取り入れた多難な対応が迫られるものと思われまます。

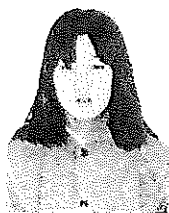
井波町では、今第三次総合計画を立案中であります。新世紀に向って、より生きがいのある明日を築き、愛と活力にみちた町「井波」と美しい自然を守り、活力ある産業の振興と香り高い文化を創造し、すべての町民がより生きがいのある充実した生活を送れるような井波町の将来像であります。

井波町は瑞泉寺の門前町として栄え、当地区にも寺のつく地名が四ヶ所と城山があり、長い歴史を重ねてきた我が郷土であります。

しかし、今日の町民生活は、高度経済成長により物質的豊かさが増した反面、自然環境の悪化や、地域連帯感の欠如に伴う青少年問題など多くの問題に直面しています。又、農業単作地帯の当地区においては、ほ場整備事業の完了に伴い、農業振興計画を策定し、農地の高度利用を促進し、農家の生活安定をめざすなど地域の振興と発展に尽くす所存であります。

みなさま方の一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

昭和六十年 五年生まれの人の抱負は



高田 和代
昭和48年生

私の夢

今年是我的年 牛年です。それに
小学校の最高学年にもなる年です。

六年生になったら、心も体もきた
え、あの強い牛に負けぬようがんば
ろうと思っています。朝は早く起き
て走って太陽の光を体いっぱいを受
けてみたいとも考えています。

小学校の勉強を、毎日少しづつで
もして中学生になってもはずかしく
ない学力をつけておこうと思います。
特に音楽器クラブでは、自分の実
力を出し切ってすばらしい「小だい
こ使い」になるつもりです。これは
四年生時代からの夢でした。
いろんな夢を本当のものにするよ

う毎日努力していかうと思っていま
す。



狩野 和浩
昭和36年生

一日を大切に

昨年を振り返ってみると、私にと
っていろいろな事があり、思い出深
い一年ではありましたが、一つ一つ
を考えてみると、なにげなく過ごし
てきたようでした。

毎年、今年こそは充実した年にし
ようと思っっているのですが、同じよ
うに過ごしてしまいます。

今年、私の干支にあたる牛年で
もありますので、欲張らずに充実し
た日々を一日でも多く送っていきたく
と思っています。



長田百合子
昭和24年生

自分の時間を見つけ

積極的参加を

今年で四度目のウシ年。元日生ま
れなので、お正月がくるとまた一才
年とってしまうのですが、気持ちだ
けは常に若いつもりです。

子供達の成長を見るにつけ、また
職場での責任の重さを感じるにつけ、
いい年であることを考えさせられま
す。

一日一日を忙しくバタバタと過ご
している毎日。忙しい人ほど時間を
上手に作るといわれますが、仕事を
持つ主婦としては、なかなか難しい
のが現実です。

今年、婦人会の役員も引き受けて
いることですので、少しでも自分の
時間を見いだして、自分の殻に閉じ
こもることなく、積極的に参加し見
聞を広め、実り多い一年を送りたい
と思っています。



岩崎 保子
昭和12年生

相手を思いやる優しさを

文化が発展し、住みよいはずの現
在、世界では、飢餓やゲリラ戦争、
また、国内での毎日起きる非人間的
事件等も、初めはショックを覚えま
したが、度重なるにつれ、慣らされ
てしまい、人間性が失われた様に思
います。

今、私達に必要なのは、弾む会話
にうなづき、相手を思いやる優しさ
ではないでしょうか。

今年こそ、一人一人が豊かな心を
持ち、健康に留意され、深く結ばれ
た明るい家庭を築かれます様、心か
ら念じております。



山本 外市
大正14年生

仕事と健康づくりに

還暦という人生の転機の春に、今年
の抱負をとのお話しに面映く感じ
ておりましたが、古くから人生五十
年とよくいわれていました。

しかし、今の高齢化社会では六十
になった私が、最後の安息を考えた
ら、今の福祉社会を背負っている青
壮年の方々に申し訳ないと思いま
す。大寺山をゆさぶる南の風と、大正
期の不況を堪えぬいて守ってくださ
った父母や祖父母の愛した我が地区
の発展を喜びつつ、今年も仕事と健
康づくりに精いっぱいがんばりたい
と思います。

祖先に感謝しながら

前川美登里
大正二年生

五年の新年、ああ私の年と思う。
稀にして又廻り合うことのできた新
年、それにしても七十余年の長い歳
月、今はただ夢のよう。人生は宝の
山と聞きながら心ならずも空過して
しまった。
「今日はすべて」という本を書い
た人があった。「今が全生涯」と言

った人もあった。一日が大切、時間
が惜しい。今この身に脈打つ血潮の
音を聞いていると、遠いいのちの歴
史が思われて尊い祖先の遺産として
のこの身とこの世に両手を合わせず
にはいられない。

本当にどうしたならば御先祖に喜
んでもらえるような一日が送れるで
あろうか、お互いが多難な足もとを
しっかりと踏みしめ、かみしめて厳し
い人生勉強の中で本当の幸せをつく
っていきたいと願いつつ、心を新た
にするお正月です。



武田久太郎
明治34年生

干支のように粘り強く

私は八回目の年老いたウシであり
ます。大変粘り強く、動きのよくな
いのが特徴であります。今日まで健
康に恵まれ長生きさせていただいて
いることを感謝しております。

私がいつも考えていることは、郷
土の歴史を掘り起してみたいという

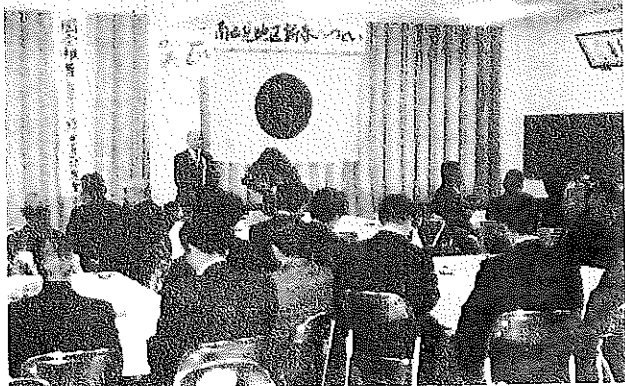
ことです。

たとえば、日本の仏像伝来時の蘇
我氏の重臣 領築小右エ門・宗右エ
門が清玄寺の方面へ逃がれ、その形
跡として、焼尻・畠成の地名がある
そうですが、また、東城寺城・院宣
見の段乗寺の移転先（金沢野田山大
乗寺）等、当地区が、いかに早くか
ら人が住み文化が開かれていたかな
どが判れば大変面白いなと、変な夢
を見ています。

ご成人 おめでとう

- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| 院瀬見1区 | 幸代子 | 恵博彦 | 一治美子 |
| 院瀬見2区 | 昌和恵 | 川幸忠 | 雄禎京淳和 |
| 院瀬見3区 | 前田武田 | 川倉原 | 橋田田嶋岡 |
| 院瀬見4区 | 田中克小 | 前朝川 | 小原沢倉山 |
| 東城代 | 田吉篠須 | 川原冲 | 高 |
| 連 | 銅 | 戸板団地 | |

なごやかに
"新春のつどい"



一月四日、年末より降り積った大
雪の中、自治振興会主催による、新
春のつどいが開催された。
町選出の国会議員・県議員・町
長をまじえ、地区の方々九十余名の
参加により、今年の抱負を語り合い、
地区の今後の発展を祈って、なごや
かに行われた。

「町長と語る会」の 主な話題

十一月二十一日
参加者 七十名

- 一、工場誘置を積極的に
- 一、農業共済の損害評価方式
- 一、教育問題
- 一、農業機械の課税
- 一、観光客の宿泊施設
- 一、山手地域の除雪対策
- 一、公民館の格納庫と駐車場の設置
- 一、戸板団地の払い下げ
- 一、行政にも企業並みの行革を
- 一、パイプライン化と水量確保
- 一、林道網の確保

第七回地区文化祭

十一月十八日、日頃の学習の発表の場である文化祭が、数多くの作品を展示し、体育館に舞台を設けて華々しく開催され、終日にぎわった。

農産物品評入賞者は次のとおり。

山本外市・岩崎弥作・箭原健作・富田利次・沢田武夫・山本光一・佐藤三之丞・中村美津夫・高嶋与之・前川よ志子・箭原幸雄

第七回地区体育祭

十月十四日、時々雨が降り、最悪のコンディションではあったが、無事、予定どおり全競技を終えた。

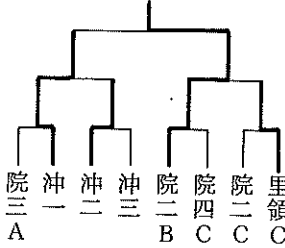
- (総合)
- 優勝 五組(院一・二)
 - 次勝 六組(沖)
 - 参勝 三組(谷・団・志)
 - 四組(戸・里・川)
 - 二組(東・清・連)
 - 一組(院三・四)
- (リレー)
- 優勝 四組(戸・里・川)
 - 次勝 二組(東・清・連)
 - 参勝 一組(院三・四)

第一回 ビーチバレーボール大会

十一月二十六日からのビーチバレーボール教室に引きつづき五日間、四十チームの参加により熱戦が展開された。

チームB 二勝
チームC 二勝
チームA 一勝

決勝トーナメントの結果



活躍の記録

第九回 井波町夜間バレーボール大会

南山見地区からも七チームが参加した夜間バレーボール大会は、十月二十三日から社会体育館において、二十六チームの参加で熱戦をくりひろげ、

里領・戸板チームが、山見チーム、下新町二区チームを押しさえ、見事に優勝しました。体育館の夜間開放によるスポーツ熱の向上が、今後さらに期待されます。(Y・I)

第一回 井波町婦人 バレーボール大会

ママさんたちも負けてはいません。十二月十一日より行われた大会では、七チームの参加の中、見事、南山見チームが優勝しました。

優勝 南山見チーム
次勝 山野Aチーム
参勝 高瀬チーム

お月見と琴と民踊の夕べ

十月九日、雲一つない夜空へ、八乙女山から上った月がことのほか美しく南山見の刈田を照らす中、南部農村公園において、婦人団体共催の月見の会が催された。

茶道クラブ員の立派なお点前、食改グループの協力による手料理をいただきながらの琴の調べと民踊、すばらしい一夜でした。(A)

《編集後記》

明けましておめでとうございます。今年も「激動」と「不透明」の年になりそうです。心の安らぎの「故郷」作りに、公民館の果さなければならぬ役割りもまた大きなものがあると思われます。今後、一層のご協力をお願いいたします。

今回は、新春にあたり夢と抱負をウシ年生まれの方に代表して語っていただきました。紙面の都合で真意が伝わらなかったかと思いますが、ご容赦下さい。(K)

何が走り何が飛ぶとも初日豊か

草田男